**12．What would you like?②**

**～レストランゲーム～**

目標：・金額を予想しながら、“I’d like~.”の表現を用いて、注文することができる。

・“What (main dish/side dish/ dessert) would you like?”の表現を用いて、相手が注文したいものを尋ね、正しい食事（絵カード）を渡すことができる。

対象：小学校５年生

時間：20分

言語材料: <表現>What (main dish/side dish/ dessert) would you like? / I’d like~.

<語彙>*gyoza*/grilledfish/*ramen/* beefsteak/pizza/rice/salad/curry and rice/

rice ball/yogurt/bread/corn soup/ /fried chicken /fruits /omelet/

icecream/parfaitcake/*daifuku*/French fries/spaghetti/

準備： 自分が注文したい食べ物シート各1枚、オーダーシート各1枚、振り返りシート各1枚、食べ物の絵カード各10枚、食べ物の値段リストのシート

**このタスクの進め方**

○**Pre-task**

1.教師はウェイター役となり、何人かの児童（客）に注文を聞きモデル活動を

示す。

C: Excuse me.

T: May I help you?

C: I’d like to order, please.

T: Sure! What main dish would you like?

C: I’d like~.

T: What side dish would you like?

C: I’d like~.

T: What dessert would you like?

C: I’d like~.

T: OK!

2.児童は、モデル会話を２人ペアで練習をする。

○**Task**

1. 教師はクラスを客とウェイター役に分ける。

2. ウェイター役は客のところに行き、ワークシートのオーダーシートに注文を書く。（Main dishはメニューの名前を書き、Side dishと Dessertはメニューの名前の単語に丸をする。）

3. ウェイター役は注文を取った食べ物の絵カードを客に渡す。

4. 客とウェイターの役を交代する。

5. 教師は食べ物の値段が書いてある紙を配布する。

6. 児童はその値段表を使って、自分が注文した値段を確認する。

7. 教師は最後に、1000円に一番近いメニューを作った児童が誰だったか発表する。

**ワンポイントアドバイス**

　・各料理に値段があり、金額を予想しながら、合計１０００円に近くなるようにメニューを考え、ワークシートに書かせる。

Ami Koike